

開発 フェイスシールド 贈答

4社連携し医療福祉施設に

平岡工業など

自動車用金型設計製作などの平岡工業（安佐南区伴南2-5-19）は、自動車部品・電子部品製造のアスタック（安佐南区伴南2-15-36）、グッス企画制作などのスベイスエイジ（南区段原2-15-1）、塩化ビニル樹脂コンパウンド製造販売のリケンテクノス（東京都）と連携し、新型コロナウイルス対策で顔を守る「フェイスシールド」II写真IIを開発した。リケンの抗菌・抗ウイルス性、安全性を認証するSIAA（抗菌製品技術協議会）マークを取得した「リケガードフィルム（RF）」を使った初のフェイスシールドで、医療機関に寄贈するほか、販売へ向け医療卸などと商談を進めている。

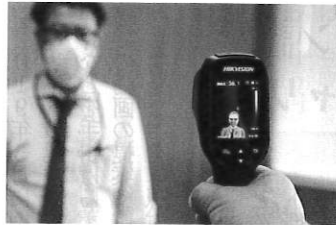


企画、組立、梱包・発送などを行い続括する。ボタン式にすることで脱着を可能にし、洗浄で何度も使えるようにした。曇りをなくすため穴位位置を工夫したほか、シールドの跳ね上げができるようにした。意匠登録も検討する。価格は1個3000円程度。医療従事者、歯科医院、介護施設などに寄贈するほか、5月から平岡工業が販売を始める。初回生産は1500個で、受注状況に応じて増産し、月産1万個の製造を見込んでいる。

アドプレックス 検温サーモカメラを販売

中電グループで印刷・広告事業のアドプレックス（中区舟入南1-1-18、隅川通治社長）は5月から、非接触で検温するサーモカメラの扱いを始めた。不特定多数の人が出入りする場所で、効率よく安全に高精度で発熱者を検知。新型コロナウイルス感染拡大の防止に努める病院やオフィスビル、商業施設、ターミナルなどへの導入を目指す。

人の流れを止めることなく顔の温度を1秒で測定。発熱者を検知するとパソコン上でのアラームや、カメラ本体から発光や警音を出すことができる。数センチ離れた場所からでも高精度で正確に測ることができるとい



う。最大30人の同時測温が可能で、AIによる顔検出機能を搭載。工場や学校などへも展開する。ハイビジョン社製。販売

生もみじ

12月1日発売

平岡工業の平岡良介専務が取引先からの紹介でRFを知り、医療福祉施設で不足しているフェイスシールドに適すると判断し、RFの購入を決めた。共にタイに工場を持つアスタックがフィルムのカットと額部のウレタンサンプルなどを担当。フィルムへの印刷はスペースエイジが担当。フィルムを提供するリケンテクノスを通じて販売も検討する。工程は①RFをカット（縦230×横320）、②シ穴あけ、③RFに商品名「SUPER HG SHIELD」を印刷、④ウレタンカット、マジック式ゴムヒモ接着と各穴あけ、⑤ボタン取り付けで、平岡工業が販売。

YARIS 常識を変えろ。

【お客様ご相談】 0120-503-365

https://www.netz-hiroshima.jp

代理店として扱う。ボックス型の基本セットは初期設定費用込みで85万円（税別）。1.5リッターの距離で測定するハンディタイプは20万円（同）。三脚とのセットで即使用でき、設置も短時間で済むため、感染防止の外出自粛緩和を受けた営業再開などにタイムリーに対応できるとしている。

中国5県を営業エリアに、これまでも災害備蓄品やマスク、消毒液などの衛生用品を扱っており、検温カメラの潜在需要を掘り起こす。

アパレルアイ（福山） 夏用素材の布マスク

婦人服企画・販売のアパレルアイ（福山市）は4月発売の布製の「洗えマスク」が好評なことから、夏場に合わせて吸水速乾、接触冷感、UVカット機能を付けた新商品を5月12日に発売した。

婦人向けボトムスに使われる伸縮性のある素材を使い、顔に密着する。子供用、大人用普通サイズ、同大きめの3サイズ。1セット2枚入りで立体タイプ1000円、プリーツタイプ1600円。注文は自社ウェブショップで受け付ける。5月中旬に毎週5800〜8500セットを販売。反響に応じて増産を検討する。

また5月初旬から、海外の協力工場から使い捨て防護服やフェイスシールドを仕入れ、医療機関などに販売している。価格は応相談。